

## 支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）（案）

---



令和8年10月26日  
全国健康保険協会三重支部

---

# 1. 三重支部 課題シート

|   | 課題                                                                                                                          |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 代謝リスク保有率が高く、内分泌、栄養及び代謝疾患の年齢調整後1人当たり医療費も高い<br>・過去3年、代謝リスク保有率の地域差指数-1が高い<br>・内分泌、栄養及び代謝疾患（入院外）の年齢調整後1人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度が高い |
| 2 | 運動習慣要改善者および睡眠で休養が取れていない者の割合が全国平均より高い<br>・運動習慣要改善者の割合は、男女ともに全国平均を大きく上回る<br>・加入者の健康づくりを推進する、健康宣言事業所の割合が低い                     |
| 3 |                                                                                                                             |
| 4 |                                                                                                                             |
| 5 |                                                                                                                             |

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

## 2. 三重支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

### 三重支部健康づくり戦略

#### I) 戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者の予防・健康づくりを適切かつ有効に実施することにより、健康寿命の延伸を推進し、加入者・事業主の利益の実現を図ります。

#### II) 戦略概要

加入者の健康の保持・増進に向けて、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の健康課題の解消に向けた取組により、健康寿命の延伸に取り組めます。

また、加入者の特性に応じたきめ細かい予防・健康づくりを適切かつ有効に実施するため、健康経営の推進を図り、加入者・事業主双方への働きかけを強化し、健康づくりを総合的に推進します。

こうした加入者による健康づくりの実効性を高めるため、関係機関・団体との連携を強化し、地域・職域が一体となった健康づくりを推進します。

## 2. 三重支部 健康づくり戦略（案）

### Ⅲ）3年間の主な取組

#### 《健康の保持・増進》

##### 〔個人の特性に応じた支援〕

協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた適時適切な支援を実施します。

##### 〔健康経営の推進〕

事業所が健康経営を実践するため、事業主等への働きかけを一層推進するとともに、多くの事業所が自ら従業員等の健康づくりを進め、事業所全体の健康意識を醸成することを目指した各種取組を実施します。

##### 〔健診の拡充〕

2026（令和8）年度から開始した被保険者に対する若年者への健診や人間ドック健診、2027（令和9）年度から開始する被扶養者に対する健診拡充等における利用状況等を把握し、利用の定着に向けた取組を進め、受診率の向上を図ります。また、地域によって委託機関が少ないことから、健診受診機会の拡大のため、新規施設を開拓するとともに、検診車による受診機会の増加を図り、併せて事業者健診データの取得を強化します。

#### 具体的な施策

- ・健診データを活用し、対象者の特性に応じた糖尿病予防啓発事業の実施する
- ・けんぽアプリ等を活用した健診案内や予約、受診後のフォローアップを実施する

- ・文書および電話勧奨を積極的に行い、健康事業所宣言を周知広報し、参加機会を提供する
- ・健康講座、健康情報の提供等、健康宣言事業所の健康意識醸成に資する取組を実施する

- ・新規施設開拓に向けたトップセールスを実施する
- ・検診車を保有する健診機関にアプローチする

## 2. 三重支部 健康づくり戦略（案）

### Ⅲ）3年間の主な取組

#### 《健康の保持・増進》

##### [特定保健指導の量・質の向上]

人間ドック健診での特定保健指導の実施必須化や、被扶養者への健診拡充等に併せて、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を進めることにより、実施率の向上を図るとともに、特定保健指導の未実施者に対する健康づくり支援を進めます。また、保健師及び管理栄養士の育成に取り組み、特定保健指導の質の向上を図ります。

##### [重症化予防の拡充]

これまでの血圧・血糖・脂質・胸部エックス線検査の結果に基づく取組に加え、2027（令和9）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施します。特に未治療者受診勧奨事業の対象者が多い事業所には労働局と連携し、事業主からの受診勧奨を推進します。

##### [ヘルスリテラシーの向上]

協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、事業所に対するメンタルヘルス対策や女性の健康問題に対するポピュレーションアプローチ、喫煙対策、睡眠対策、学齢期からの健康教育の実施、歯科健診の推進等を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

#### 具体的な施策

- ・意欲的な委託機関との連携を密に図り、好事例集に掲載できるような模範的な委託機関を育成する

- ・委託機関ごとの実施率を見える化し、体制整備への動機づけを行う

- ・生活習慣病予防健診を要治療者受診率順に見える化し、委託機関のモチベーションを上げる

- ・未治療者受診勧奨事業の対象者が多い事業所へ労働局連名の文書を送付し、事業主からの受診勧奨を促す

- ・小学校での健康教育およびポスターコンクールを実施することで学齢期からヘルスリテラシーの向上を図る

- ・働く世代に対し、産業保健総合支援センター等と連携し、セミナーや出前講座の取組を実施する

## 2. 三重支部 健康づくり戦略（案）

### Ⅲ）3年間の主な取組

#### 《良質かつ効率的な医療の推進》

##### [医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

地域医療構想調整会議や医療審議会、健康増進計画に基づく県の会議等に積極的に参画し、加入者が必要な医療を必要な時に受けられる医療体制の確保に向けて、協会が保有する医療費・健診データや国・県等から提供された医療データ等を活用し、エビデンスに基づく効果的な意見発信を行います。

##### [医療費の適正化]

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進めます。バイオ後続品（バイオシミラー）については、医療費データをもとに、地域や医療機関別などの複数の分析軸でバイオシミラー使用状況を分析し、その分析結果をもとに医療機関や関係団体への働きかけを図ります。また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図ります。さらに広報を戦略的に実施し、上手な医療のかかり方やセルフメディケーションの推進に努めます。

#### 具体的な施策

- ・エビデンスに基づく効果的な意見発信を行うため、近隣支部とデータ分析に関する打ち合わせを定期的に行い、分析能力の向上を図る

- ・バイオシミラー使用状況を分析し、その分析結果をもとに医療機関や関係団体への働きかけを行う
- ・医療関係者が地域フォーミュラリの導入・運用に取り組む際に地域における医薬品の使用実績データの提供を行う
- ・メールマガジンやLINE等を活用し、上手な医療のかかり方について積極的に広報に取り組む